

新春を迎えて

皆様明けましておめでとうございます。

21世紀まで余すところ2年となり、次世紀の地域づくりは、ゆとりや心の豊かさの実感が求められています。

本県では、地域の独自性を生かした、個性的で魅力的な地域づくりを進めておりますが、当南会津地方には、山や川などの広大な自然をはじめ、自慢のできる魅力的な地域資源が数多く見られます。

これらの自然環境や地域の資源を活かし、園芸産地の育成強化を中心とした農林業の振興等を図るために、地域農業構造の再編成、産地戦略の再編等を進めていく必要があります。

農林事務所としては当面、昨年夏から秋にかけての、相次ぐ集中豪雨と台風襲来による農林業被害の復旧対策や、防災対策を講じているところで

あります。

また、景気対策を中心とした公共事業等も、2度にわたる補正予算、更に3次補正と大幅に前年を上回ることとなりますし、積極的な工事発注の前倒し等も実施しております。

管内皆様の要望に答えるためにも、種々の農林事業、政策を強力に推進して参りますので、本年もよろしくご指導・ご協力をお願いいたします。

平成11年度が皆様にとって幸多い年となりますように。

所長 横田



今月のトピック

◆フレッシュ農業ガイド講座を開催

12月16日、田島高等学校と南会津地域農業改良普及センターの共催でフレッシュ農業ガイド講座を開催しました。本講座は農林科の2年生を対象に職業としての農業の姿を理解してもらおうと開催したもので、県の作成した就農促進ビデオ、新規就農者に対する支援策を紹介したほか、県指導農業士で只見町議会議員を務める目黒吉久氏に氏の就農当時の話や農業感を語っていただきました。聴講した学生の中から今後、力強い地域農業のリーダーが育っていくことを期待しています。

◆ヤマザクラ保全講習会を開催

観光ポスターにもなり県内外に紹介された「戸赤集落のオオヤマザクラ群落」を保全するための講習会を11月29日戸赤集落で行いました。田島町在住で日本さくらの会会員でもある福島県林業普及協力員・五十嵐徳三氏にお願いし、ヤマザクラの健全な成長を促し併せて景観にも配慮した施業方法の講習を受けた後、集落の関係者15名で実地に作業を行いました。

◆いきいき農村女性のための講習会を開催

12月21日、下郷町ふれあいセンターにおいて、農村女性の生活改善・生産活動の活性化を目的として卵料理講習会とキノコ栽培講習会を開催しました。田島町及び下郷町の生活改善グループ員23名の参加のもと、午前中は南会津地域農業改良普及センター・猪俣主任主査が講師となり卵料理講習会を実施し、午後には農林事務所森林林業部・作間副主査から「管内のキノコ生産の現状と課題」を説明した後、下郷町でハタケシメジ栽培に取り組んでいる林業普及指導協力員・渡部善一氏よりハタケシメジ栽培上の留意点や販売の取り組みを学びました。

◆各地で会津地鶏料理検討会を開催

12月18日、下郷町ふれあいセンターにおいて、会津地鶏料理の普及振興・消費拡大を目的として会津地鶏料理講習会が下郷町会津地鶏推進協議会の主催、下郷町商工会の後援により旅館組合・民宿組合・食堂・ドライブイン経営者等約20名を集めに開催されました。

県養鶏試験場・有賀経営部長を講師として「会

津地鶏の由来と旨さの秘密について」と題した講習を実施した後、南会津地域農業改良普及センター猪俣主任主査を講師として実際に調理・試食を行いました。



会津地鶏を是非一度ご利用下さい

12月21日、磐梯町七つ森「ペンション雪村」において、会津地鶏定着化推進協議会と磐梯町との共催で会津地鶏料理検討会を実施しました。

本料理検討会は、うつくしま地鶏定着化推進事業の一環として行ったもので、「会津地鶏」の観

光業界への食材としてのPR及び「会津地鶏」料理の普及を目的に関係者約40名が出席し、試作した8品の料理で「会津地鶏」と「プロイラー」を食べ比べ、どのような料理が地鶏肉の味を引き出すかを検討しました。

試食後、地鶏の生産者側利用者側からそれぞれ意見の交換が行われ、地鶏そのものの味が出やすい「水炊き」、「炊き込みごはん」等で高い評価を得ました。

◆樹木医に合格！普及センターの岩淵さん

このたび、巨樹や名木などの保護や治療、樹勢の回復などを行う「樹木医」に南会津地域農業改良普及センターの岩淵副主査が合格しました。

樹木医の認定制度は平成3年度に林野庁と(財)日本緑化センターが創設したもので、現在全国に574人、県内に18人、南会津郡内には今回合格した岩淵さんの他に南会津農林事務所森林林業部の斎藤部長がいます。

大切な樹木が病気等でお困りのことがありましたら是非ともご相談いただきたいとのことです。

◇◇◇農業者の声◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

星 忠勝 さん (下郷町落合)

謹賀新年

新しい年になり今年が良い年でありますようにと、祈るのもう何回になっただろうか。

私が農業を始めた昭和40年代のころは、増産増産の言葉とともにいたる所で農地開発が進められていました。しかし現在、農業情勢の変化と農家の他産業への従事で農地は荒廃地が多く見られ、本県はその面積も日本一と大変不名誉なこととして報じられております。

新しい農地も先代から受け継いだ農地も、農地として次の世代へ託そうと、農家4戸で始めたそばの栽培面積も50haになりどうにか特産として認められるまでになりました。また、そばブームに乗り栽培から製粉・製麺そして食堂の経営と付加価値を付け進化させることができました。村おこし・地域おこしとして始めた「会津猿楽そば」は多くの人々に利用していただいております。またお客さんの要望で冬期間も休まず営業しております。

私は、2度渡欧し勉強する機会を得ました。ドイツ・フランスの農業に対する取り組みはすばら

しいものがありました。それは20年の歳月にも動じないものでした。農業に対しての国・州の制度が充実していました。農家もいろいろな取り組みをしております。地域の中で環境の保全、安定した食料の生産供給、都会の人に対しての自然の提供など農業の必要性を再確認することができました。さらには個々の農家の人が夢を持って農業に従事していることでした。



南会津の農業はと考えると、農業の基本は何百年もの間培われてきた知恵と工夫の積み重ねだと思っています。農地ですら何人もの人に受け継がれてきたのです。私自身一つのことが他人に認めていただくまで10年もかかりました。現代の農業は全ての分野に精通しなければ現実のものにはできませんし、数々の知識が必要です。しかし最も必要なものは夢だと思っています。

昨年12月には「農政改革大綱」が決定し、今年度の通常国会には新農業基本法案が提出されます。南会津の農業にとって夢のもてる真の農業の基本的法であればと望んでいます。

特集！落石から地域を守る治山事業

グラグラと家がゆれる地震だ。台風だ、風が強いぞ、裏山の木々が大きくゆれる。そんなとき、あなたの家の裏山は気になりませんか。

急峻で、平地の少ない会津地方では農地を少しでも多く確保するため、山裾に人家が集中しているところが多くあります。そのため、集中豪雨、台風、地震等の時に、落石等による災害の危険にさらされているところは少なくありません。

今回、紹介する南郷村大字山口字城口山も天狗岩やその周辺にある岩山からの落石により、幾度となく被害を受けている地域です。

農林事務所では、こうした落石からの恐怖から人命や財産を守るために、地域防災対策総合治山事業により落石対策の仕事を行っています。落石対策には落石の発生源をロープネット等でおさえる方法と落石発生源の下方に落石防護柵や落石防護堤を設置し落ちてくる石を待ち受ける方法があります。城口山では、その両方の方法を採用し対策を行いました。

○発生源が広く発生源対策が困難な地域では、待ち受け対策として、

◇落石防護柵

10トンタイプ：落石の衝撃力が7.36トン程度の地区に施行した柵工。

30～40トンタイプ：落石の衝撃力が25.46～37.18トンの地区に施行した柵工。

◇落石防護堤

落石の衝撃力が100トン以上と大きく柵工

ではおさえられない地区に施行。
○下方に待ち受け工法が施行できない地域では発生源対策として、

◇落石防護ネット工

発生源をロープネット及びネット併用により覆い、石が落ちないようにした工法。

城口山では以上の工法により落石を防止し、安全で住みやすい居住環境を整備しました。

今後も、このような危険な地区があれば保安林等への指定とあわせ積極的に工事を施工してまいりたいと考えております。皆様のご意見など、お寄せいただければ幸いです。



南郷村城口山地内に施工した落石防護柵

【問い合わせ先】

森林林業部 森林土木課 治山係
TEL 0241-62-5381

～研修会・講習会のお知らせ～

遊休農地活用推進講演会

【日時】平成11年2月1日(月)10:30～

【場所】郡山ユラックス熱海 大会議室

【内容】

(1)基調講演

「景観形成作物等による遊休農地の環境保全及び農村活性化の課題」

千葉大学園芸学部 教授 中村功氏

(2)遊休農地活性化に向けて

①土地利用型園芸作物の現状と今後の進行方向
県園芸蚕糸課 主幹兼課長補佐 榎本優氏

②事例発表

’99地域活性化セミナー

【日時】平成11年2月4日(木)10:00～

【場所】郡山ユラックス熱海 大会議室

【内容】

(1)基調講演

「世界の中の日本の農業」

～お米にエールを送る～

青森大学教授・エッセイスト 見城美枝子氏

(2)パネルディスカッション

「地域がはぐくむ食・食が創る地域」

コーディネーター

㈱地域戦略研究所 所長 新藤健一郎氏

地域活性化・農村集落リーダー研修会

【期日】平成11年2月18日(木)～19日(金)

【場所】只見町長浜 「季の郷 湯ら里」

【日程及び内容】

2/18 13:30～事例発表

①集落づくりの取り組み

②農用地有効活用事例

14:00～基調講演

「どうする中山間地域…元気の出る話」

(株)地域戦略研究所所長 新藤健一郎氏

2/19 9:00～研究討議

(バス・セッション方式による自由討議)

①農業振興はどうあるべきか

②地域特産品開発はどうすべきか

③中山間地域活性化にむけたグリーン・ツーリズムとは

④農業経営と税対策

11:30～総合討議

【参加申し込み】2月18日のみの参加は参加自由ですので、どなたでもお越し下さい。参加費は無料です。申し込みは下記問い合わせ先まで。

【問い合わせ】南会津地域農業改良普及センター 企画課 TEL 0241-62-5262

農業短期大学校研修

内 容	日 時	場 所
①農業機械研修：農業機械2級技能(短期)	2/2 9:00～2/3	農業短期大学校内
②農産加工研修：加工品の衛生管理、リンゴジュース加工	2/5 10:30～	"
③農業機械研修：ミニバックホウ操作基本	2/16 9:00～2/17	"
④農産加工研修：農産物及び加工品のマーケティング対策	2/18 10:30～	"
⑤農業機械研修：ガス溶接基本技術	2/18 9:00～2/19	郡山高等技術専門学校
⑥農産加工研修：パン加工の基本	2/22 10:30～	農業短期大学校内
⑦農業機械研修：トラクタ基本運転	2/22 9:00～2/25	"
⑧専門研修：農村におけるライフ・プラン	2/25 10:40～	"

※お申込み・お問合せ先：南会津地域農業改良普及センター TEL 0241-62-5262

3ヶ月予報

仙台管区气象台発表の「東北地方3ヶ月予報」

1月 前半は冬型の気圧配置の日が多く、後半は冬型の気圧配置は長続きしないでしょう。

日本海側では平年と同様に、曇りや雪または雨の日が多いでしょう。太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並みの見込みです。

日本海側の降雪量は平年並みか少ない見込みです。

2月 日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。太平洋側では平年と同様に晴れる日が多いでしょう

3月 日本海側では平年と同様に天気は周期的に変わるでしょう。太平洋側では平年と同様に晴れる日が多いでしょう。

みなさんのご意見感想をお寄せください。

郵便・FAXどちらでも結構です。

この広報誌は再生紙を使用しております

あて先

〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所企画部 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866

FAX 0241-62-5349